



平支援学校6年生 との メッセージカードによる 「卒業交流」(6年生)

例年、6年生は、1月に平支援学校を訪問し、6年間交流を深めてきた平支援学校の6年生と、「卒業交流会」を開いています。

平支援学校との交流は、1年生の時から年2回(交流七夕祭り・交流平窪祭り)、平支援学校の皆さんを本校に招いて行ってきました。しかし、今年度は、コロナウイルス感染予防のため、残念ながら、中止となり、1月に予定していた「卒業交流会」も中止となりました。

そこで、お互いにメッセージを書いて交換し合いました。支援学校の皆さんからは、支援学校の施設紹介(訪問した時に見せていただく予定でした。温水プール・エレベーターなど平四小にはない施設がたくさん紹介されていました。)と「いつまでもなかよしだよ。」というメッセージをいただきました。本校の児童からは、「一緒に交流ができなくて、とても残念です。」「来るたびにうれしそうにしてくれるのが、とてもうれしかったです。」「みなさんが、とても努力していることがよくわかりました。」「中学校でもお互いがんばりましょう。」などのメッセージを贈りました。

よりよい「共生社会」の担い手となっていく両校の児童たちにとって、6年間の交流は、とても貴重で、これからに生きるすばらしい体験であったと思います。



校外こども会 「新登校班を編成」

2月24日(水)に、今年度最後の「校外子ども」が開かれました。各登校班で、集合時刻や歩き方、あいさつなど、これまでの登校の様子を振り返るとともに、来年度に向けた班編成も行いました。新1年生への案内の手紙も書きました。

現在、5年生・4年生を中心とした新班長・副班長が、班をまとめ登校しています。6年生を中心としたこれまでの班長・副班長は、アドバイス役です。ここでも、また1つ伝統が引き継がれています。

